

# 核融合研究の推進に必要な人材の育成・確保 に関する検討状況について

平成20年7月16日  
文部科学省研究開発戦略官付

「ITER計画・幅広いアプローチをはじめとする我が国の核融合研究の推進方策について」  
(科学技術・学術審議会 核融合研究作業部会 平成19年6月27日) 指摘事項(抜粋)

指摘事項

- 原子力の分野の中でも核融合研究は、長期にわたる学際的及び総合科学技術的なプロジェクトであることから、これを推進するためには、幅広い基礎学術と産業技術を有した人材の育成が不可欠
- ITER計画及び幅広いアプローチといった国際プロジェクトにおいて、我が国がリーダーシップを維持、発展させていくためには、その基盤となる国内研究(重点化課題や幅広い基礎研究)を一層強化し、これらを通じて優秀な人材を育成し、確保することが重要

# 核融合研究作業部会における検討

核融合研究作業部会では、推進方策での指摘を受けて、平成20年2月以降、人材の育成・確保に関する検討を更に深め、課題の整理と具体的な施策の検討を行った。今月下旬頃に、報告書「核融合研究の推進に必要な人材の育成・確保について」をとりまとめ予定。

## これまでの審議経緯

- 平成20年2月 第10回 ・ 核融合研究分野における人材の確保について  
※今後の検討の進め方  
※核融合分野の人材育成に関する状況分析 等
- 4月 第11回 ・ 核融合研究分野における人材育成・確保について  
※トカマク型原型炉に向けた開発実施のための人材計画に関する検討  
状況報告(ITER・BA技術推進委員会ロードマップ等検討WG 岡野座長)
- 5月 第12回 ・ 報告書(論点) 審議
- 6月 第13回 ・ 報告書(素案) 審議
- 7月 第14回 ・ 報告書(案) 審議
- 7月下旬頃 報告書とりまとめ予定